近代思想 II

科目ナンバリング　PHE-102
選択　2単位

濱田　陽

1. 授業の概要（ねらい）

前期に探求した生命と文化の時空の世界観を元に、自然と生きものの豊かさのメタファーとしての龍鱗、暦・名・人生の多様性、新たな年を迎えることの深い意味等の具体例を分析する。その上で、存在と時空をめぐる探求の先に、死にいたる生と対照的な世界の見方を開く「生なる死」の概念を提起し、その可能性を考察する。

2. 授業の到達目標

生命と文化と死をめぐる世界観への多様な想像力を養い、講義内容をふまえて自身の思考を展開し、内容の深い考察をまとめる思考力、文章表現力を身につける。

3. 成績評価の方法および基準

授業参加、期末レポートにより総合評価

4. 教科書・参考文献

教科書
濱田陽　『生なる死――よみがえる生命と文化の時空』　ぷねうま舎、2021年
※必ず大学内の書店等で購入して下さい。授業、期末レポート作成に必須です。

5. 準備学修の内容

・毎回の授業の事前・事後学修として、平均して毎週30分以上の教科書通読が、到達目標達成に最低限基本となる。一回の授業で平均10ページほど進むことを目安とする。
・学修内容の理解、期末レポートの準備に役立てるため、教科書から、印象に残った見出しと本文箇所を引用し、その理由を数行書いてLMSオンライン上で提出する課題を出すことがある。

6. その他履修上の注意事項

・コロナなどの状況を考慮し、対面授業のなかでアプリ・ツイキャスも活用して、欠席時には授業内容をオンラインでリアルタイム、事後的に聴講できるようフォローアップを行うなど、多くの履修者が学修ペースをつかみやすくなるよう工夫、授業参加度も履修者の立場から、柔軟かつ公平に評価する。
・授業に沿って教科書本文の着目すべき箇所を自分の判断でマークし、気づいたことや考えを主体的にメモするなど（教科書に書き込んでもポストイットなどを用いてもよい）、少しずつ理解を深めていって欲しい。
・「7.授業内容」には教科書各章が割り振られているが、章によって分量の差があるため、じっさいの授業進行はある程度前後することがある。
・LMSオンライン上で重要情報はUPしていくため、対面授業前後にLMSの方も確認してほしい。
・出欠についての申告（公欠、学生証忘れ、出校停止、発熱などによる病欠等）は当科目のLMSオンラインの「掲示板」に統一する。掲示板の出欠申告に関するフォーラムをクリックし、スレッドの作成から件名に学籍番号、該当授業月日、欠席理由を簡潔に記入、メッセージ欄に具体的な状況を書いて送信すること。

7. 授業内容

【第1回】　第一章から第五章について前期の学びをふりかえり、授業で用いる教科書の特徴について解説する
　第六章　自然、生きものの豊饒―龍と龍鱗　一　龍鱗の始原　二　変容し、増殖する鱗
　龍と人の関係性について学ぶ
【第2回】　第六章　自然、生きものの豊饒―龍と龍鱗　三　龍鱗のなかの逆鱗
　龍と人の関係性について学ぶ
【第3回】　第七章　時空、名前、人生は一か多か　一　一、ゼロ、多様　二　「一つ」の歴史性
　暦、名前、数え年の多様性について学ぶ
【第4回】　第七章　時空、名前、人生は一か多か　三　暦・名・歳を統一する制度、観念のゆらぎ
　暦、名前、数え年の多様性について学ぶ
【第5回】　第八章　若水と新年　一　若返りの水と新たな年　二　若水のメタファー
　新年の思想的意味について考察する
【第6回】　第八章　若水と新年　三　いくつもの時空の更新をともに経験する
　新年の思想的意味について考察する
【第7回】　第九章　生なる死　一　死にいたる生と生なる死
　生物個体としての死ではない関係性の根本的変容としての「生なる死」の概念について考察する
【第8回】　第九章　生なる死　二　死の形態と時空
　生なる死、生物個体としての死、アルゴリズムとデータの死という三つの死の形態を比較、考察する
【第9回】　第九章　生なる死　三　生なる死の復権
　生なる死の文化的、文明的意義について学ぶ
【第10回】　第十章　新たなる時空　一　人としての関係性　二　時空と祈り
　人としての関係性をさらに掘り下げて考察する
【第11回】　第十章　新たなる時空　三　わたしであること、新たな関係性の驚き
　生なる死と新たなる時空の深いつながりについて考察する
【第12回】　結序章　人知を超えるものの生なる死
　人知を超えるものと生なる死の関係について考察する
　おわりのおわり
【第13回】　後期の授業の到達目標に向けて、期末レポート提出直前のまとめ
　第六章から結序章までの学習内容で得た「存在と時空」「生死」への新たな視座、知識のポイントをふりかえる
【第14回】　講義のまとめ
　学習を振り返り、存在と時空をめぐる思想の多様性と豊かさについて考察する
【第15回】　期末レポートのテーマ発表・解説　＊LMSオンデマンド形式による授業、第11回前後（12月上旬）に実施予定